

会場は東京工科大学 (23p 参照)

総合受付は講義棟C 1階です。講演会場は分散しています。会場間の移動の際にはこのことを十分お含み置き下さい。

応用物理学会スクールは、3月28日(日)、30日(火)に開催します。(11, 12p 参照)。

プログラム編成の都合により、一般講演の中には講演申込みの際の希望分科によらないで、編集されているものもあります。お申込みの講演が希望分科に含まれていないようでしたら、関連分科をお調べください。

この講演会では口頭講演の場合、一部のシンポジウムおよび予め指定された一般講演を除き、オーバーヘッドプロジェクター(OHP)のみを使用します。液晶プロジェクターは使用できません。講演される方はこのことを十分念頭に置かれて準備に当たってください。OHPの使用に関するご案内をご覧ください。(17p 参照)

学内には駐車できる敷地・設備はありません。ご注意ください。

会期中、電話のとりつきはいたしません。ただし呼出しビラの掲示による連絡は行っておりますので、ご利用ください。

聴講者の講演会場内での撮影、録音についてはご遠慮いただいておりますので、お含み置きください。

### 参加費について

学術講演会に出席される方は参加費:応用物理学会正会員3,000円、会員外5,000円、学生1,000円を総合受付にお払いこみください。

なお、APS (American Physical Society), EPS (European Physical Society), IOP (Institute of Physics), EDS (Electron Devices Society/IEEE), LEOS (Lasers and Electro-Optics Society/IEEE), OSA (Optical Society of America), KPS (Korean Physical Society) 会員は応用物理学会正会員扱いとなります。

参加費をお払いこみの方には参加票挟み込みの予稿集第0分冊[シンポジウム予稿と全分冊の予稿目次(分科別プログラム)を含む]1部をお渡しいたします。なお、同第0分冊を予約されている方は、当日予約受付にて引換券を提出してください。第0分冊(参加票挟み込み)をお渡しします。参加票には各自ご記名いただき会期中胸ポケットにつけておかれるようお願いいたします。

### 第15回応用物理学会講演奨励賞贈呈式(公開)

と き 平成16年3月28日(日) 11:30~12:30  
と ころ 東京工科大学 講義棟A 3階304 (ZZ会場)  
八王子市片倉町1404-1

### 応用物理学会評議員会

と き 平成16年3月28日(日) 16:30~17:30  
と ころ 東京工科大学 本部棟4階第一会議室  
八王子市片倉町1404-1

### 応用物理学会 業績賞・研究分野業績賞 授賞式

と き 平成16年3月28日(日) 17:30~18:10  
と ころ 東京工科大学 本部棟4階第一会議室  
八王子市片倉町1404-1

### 懇親会

参加者の親睦をはかるため、気軽な懇親会を計画いたしました。ふるってご参加ください。(定員250名、定員になり次第締切ります)

と き 平成16年3月28日(日) 18:30~20:00  
と ころ 東京工科大学 レセプションルーム(片柳研究所棟16階)  
八王子市片倉町1404-1

会費・申込 2,500円 当日正午までに総合受付へ

### 展示会

恒例により、本講演会開催に併せて学内に展示会を開催します。気軽にご来場ください。

と き 平成16年3月28日(日)~31日(水)  
(最終日は正午まで)

と ころ 東京工科大学 体育館

### 講演予稿集について

4分冊頒布となっています。(頒布方法については本誌1月号に掲載)分冊内容と頒価は下記の通りです。なお、第0分冊予約には参加費が含まれています。

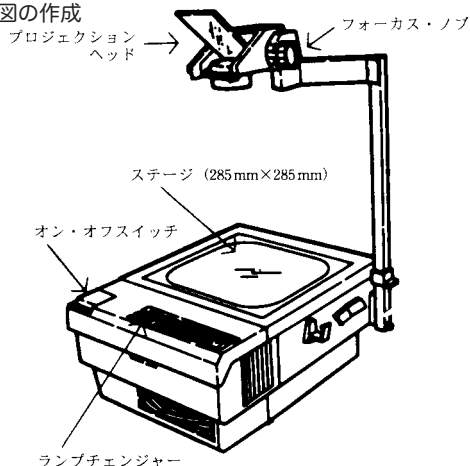
	4分冊:各分冊ともA4判, シンポジウムは1頁2件, 一般は1頁3件の予稿を掲載		
	含まれる分科および内容	予約頒価 (1冊)	即売頒価 (1冊)
※ 第0分冊	全シンポジウム, 全分冊の予稿 目次(分科別プログラム)	正会員 2,500円 学生 1,000円 会員外 5,000円	正会員 3,000円 学生 1,000円 会員外 5,000円
第1分冊	放射線・プラズマエレクトロニクス, 計測・制御, 応用物性, 超伝導, 結晶工学, 応用物理一般, 合同セッションD・E・F・G・H・J	3,500円	4,000円
第2分冊	薄膜・表面, ビーム応用, 半導体A(シリコン), 非晶質, 合同セッションD・F・H	3,500円	4,000円
第3分冊	光, 量子エレクトロニクス, 光エレクトロニクス, 有機分子・バイオエレクトロニクス, 半導体B(探索的材料・物性・デバイス), 合同セッションE・F・G・J	3,500円	4,000円

- ※前出「参加費について」をご参照ください。
- シンポジウムは第0分冊に掲載します。
- 合同セッションについては、20p参照。
- 予約郵送(事後)の場合は他に郵送料(諸掛かり含む)がかかります。
- 予約申込をされなかった方は当日早目に即売にてお求めください。なお、予約された方は引換券(応用物理学会より送付したもの)を必ずご持参ください。

1. OHP 使用に関して

口頭講演は、一部のシンポジウム・一般講演（該当する講演については、登壇者へ連絡済みです）を除き、すべてオーバーヘッド・プロジェクター（OHP）を使って行います。講演される方はこのことを十分念頭に置かれたうえ、OHP フィルム作成（OHP は透過型ですので、透明フィルムでないと写りません）など準備に当たってください。以下は基本的な原稿の作成方法、OHP 使用方法に関するご案内です。

フィルム用原稿の作成



OHP の投影可能面積は 285 × 285mm です。図面・原稿は A4 サイズが一般的です。文字・数字はできるだけ太く、大きく書くよう努力してください。

OHP フィルムの使用

次のような方法があります。

- ① 通常の乾式複写機を用い、OHP 用透明フィルム（複写機用フィルム）に直接複写する。

- ② OHP 専用複写機を活用する。

- ③ OHP 用透明フィルムに直接専用ペンにて手書きで書き込む。

使用方法

左図OHPのステージにフィルムをのせて、スイッチを入れると、スクリーンに映写されます。これは講演者各自で操作いただくこととなります。講演中、映像の一部を指示したいときはペンや鉛筆でステージ上のフィルムを指してください。ただし、講演者の位置によっては聴講者の視界を妨げる場合がありますので、そのようなときは適宜スクリーン上の映像を利用して指示してください。万一、講演中ランプが切れた場合、ランプチェンジャーをスライドしてください。以上の点に考慮していただければ、あとは学会側で講演が円滑に行われるよう準備いたします。

2. 講演時間について

各会場の講演がプログラムどおり進行し、聴きたい講演を予定の時刻に行けば聴くことができるようになっていることが望ましいわけですが、この要請をある程度満たすためにつぎの方法により講演時間などを調整することとしました。

- a. 原著発表の講演時間は10分とする。
- b. 題目の討論時間は5分とする。
- c. 座長は休憩時間開始時刻ならびに午前、午後の講演終了時刻までに定められたプログラムを終了するように時間を調整する。
- d. 講演開始、昼食時刻などは講演分科日程表・本文のとおりとする。（午前の座長のみ前半、後半を通じ一人の方をお願いすることにしています。）シンポジウム講演、受賞記念講演については一律に規定しがたいのでプログラムに定められたとおり実施する。

3. 講演時間の合図について

第1鈴：講演予定時間終了の5分前

第2鈴：講演予定時間終了のとき

第2鈴が鳴ったときただちに講演を中止していただきます。

■ ポスターセッションのご案内

ポスターセッションは右記分科において実施します。

ポスターセッションは研究成果をポスター（図表、写真を含む）の形にまとめて、これを指定されたパネルに展示することによって行われるセッションです。この方式による発表では、発表者と参加者との実質的な深い議論が期待でき、参加者は聞きたい講演のみに集中して聞き歩きできる利点をもっていますので、研究者相互の理解には一層、助けになるものと思われまます。

展示方法、発表要領は次のとおりです。

1 展示方法

- イ) 備え付けのパネル（1講演につき、たて120cm、よこ180cmのパネル）が用意されています。あらかじめ講演番号、講演題目、所属、氏名を記入した用紙（たて15cm、よこ85cm）を各自が用意し、これをパネル上部に取り付けてください。
- ロ) 次にパネルに、各自が用意したポスター、図表、写真などを、例えば研究目的、研究方法、研究成果といった順に適宜レイアウトして掲示してください。
- ハ) ポスターの大きさ、形式は問いませんが、できるだけ見やすく、大きく書いてください。その際ポスターがパネルにうまく収まるように、あらかじめポスターの割り付けを検討しておくとう便利です。
- ニ) すべての掲示は本部で用意したピンで行ってください。糊の使用はご遠慮ください。

大分類分科名	中分類分科名
4. 量子エレクトロニクス	※ 4.2 フォトニックナノ構造・現象
6. 薄膜・表面	6.4 薄膜新材料
8. 応用物性	※ 8.5 熱電変換
11. 半導体A(シリコン)	11.4 配線技術
12. 半導体B(探索的材料・物性・デバイス)	※ 12.5 半導体光物性・光デバイス
13. 結晶工学	13.2 II-IV 族結晶
15. 応用物理一般	15.2 教育

※：全てがポスターセッションではありません。ご注意ください。

2 発表要領

イ) 展示持ち時間 120分（準備 20分、撤収 10分）

	午前のセッション	午後のセッション	
準備	9:10～9:30	12:40～13:00	15:10～15:30
説明・討論	9:30～11:30	13:00～15:00	15:30～17:30
撤収	11:30～11:40	15:00～15:10	17:30～17:40

- ロ) 展示時間のうち、講演番号の順番が奇数の方は前半の1時間、偶数の方は後半の1時間はその場を離れないようにして説明、討論を行ってください。コアタイム（拘束時間）以外の時間についても、できる限りその場において、討論を行えるよう努めてください。連名者があって二人以上で出席できる場合は、だれか一人は常にその場において説明・討論をしてください。
- ハ) 展示持ち時間が終了したら、直ちに講演者各自でポスターをとりはずし、持ち帰ってください。